

3、学校の森の活動を行っている対象学年、年間時間数、授業科目等について

(下記の表の該当する欄に年間時間数を記入)

科目等	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3
国語									
社会									
算数・数学									
理科									
生活	27	27							
音楽									
図画工作・美術									
(技術・) 家庭									
(保健) 体育									
道徳									
外国語 (活動)									
総合的な学習			70	70	60	60			
特別活動									
その他									

特別活動で行っている場合の補足説明

[]

4、活動場所の状況について (該当する番号に○: 広さはおおよそで結構です)

- 1) 校庭の植栽木等のスペース (広さ ha) を活用
- 2) 近隣の公園の植栽木等のスペース (広さ ha) を活用
- ③) 学校の敷地内/~~隣接地にある森~~ (広さ 3.5ha) を活用
- 4) 学校から徒歩30分圏内にある森 (広さ ha) を活用
- 5) 学校から徒歩30分超圏にある森 (広さ ha) を活用

5、学校の森の活動開始時期について (下線部に記入)

西暦 1970 年から (内、中断 西暦 _____ 年から _____ 年まで)

(中断の理由: _____)

6、指導者について（該当する番号に○）

- 1) 先生が主体
- 2) 森林管理署、NPO、PTA等の先生以外が主体
- ③) 先生と森林管理署、NPO、PTA等の先生以外の協同態勢
- 4) その他（

上記2)または3)に該当する場合の森林管理署、NPO等の学外団体の具体名
(北海道林業技師会、石狩森林管理署)

7、PTAの関わりについて（該当する番号に○：複数回答可）

- ①) 安全な活動を行う為の森の整備についてボランティア協力
- ②) 森の活動時の見守りに関してボランティア協力
- 3) 森の整備や備品の購入等の活動経費の支援協力
- 4) 特段の支援はない
- 5) その他（

8、地域の協力の有無と内容について（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) 地域の協力
① 有り ② 無し
- 2) 「有り」の場合の協力先の属性
① 森林管理署 ② 森林組合 ③ 自治体 ④ NPO等活動団体
⑤ 地域住民 ⑥ その他
- 2) 「有り」の場合の協力の内容
① 安全な活動を行う為の森の整備についてのボランティア協力
② 森づくりの専門的な領域等に関する指導の場面での協力
③ ノコギリ、鎌等の貸出し、木工の材料等の提供等での協力
④ その他

9、校長先生の関わりについて（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) 積極的に推進役を果たしている
- ②) 対外調整業務についてリーダーシップを発揮している
- 3) 学校の森を担当する先生の意向を尊重して、ある程度任せている
- 4) その他（

10、教育委員会の関わりについて（該当する番号に○：複数回答可）

- 1) 教育委員会として積極的に支援
- ②) 教育委員会としてはニュートラル

11、学校の森に必要となる経費の有無と程度（該当する番号に○）

- 1) なし
- 2) あり ☞ 以下の該当する年間経費に○
 - ① 1万円未満
 - ② 1万円以上
 - ③ 3万円以上
 - ④ 5万円以上
 - ⑤ 10万円以上（具体的には、15万円）

12、経費の支出先について（該当する番号に○：複数回答可）

- ① 指導者謝礼
- 2) 歩道刈り払い等の毎年発生する森林整備の外注費用
- ③ 児童／生徒の森までの往復交通費
- ④ 道具の購入、樹名板等の林内設置物等の一時経費
- 5) その他（ ）

13、12の費用の捻出について（該当する番号に○：複数回答可）

- ① 学校運営費で賄う
- 2) 参加費として児童の家庭から集金
- 3) P T Aの寄付
- ④ 市町村の予算（教育委員会、教育委員会以外の森林整備セクション等）
- 5) その他（地域の団体より ）

14、数年に一度の大規模な森林整備費用の有無と対処法（該当する番号に○）

- ① 発生しない)
- 2) 発生する
 - ① その場合の整備の内容（)
 - ② 必要金額（ 万円）
 - ③ その資金の捻出先（)

15、学校の森の平成28年度の活動と前年度の活動比較（該当する番号に○）

- ① 前年度より進化
具体的には（観察地点の拡大)
- 2) 前年度より後退
具体的には（)
- 3) 前年度と変わらない
- 4) 平成28年度から開始
- 5) 前年度のことは判らない
- 6) その他（)

